



# 船越小だより

学校だより第30号  
南城市立船越小学校  
令和8年 2月25日



## 「新1年生体験入学」



春の足音が、少しずつ聞こえるようになった2月18日。令和8年度入学予定の子どもたちを迎えて、体験入学を行いました。

はじめは、知らない校舎、知らない先生、少し大きく見える机やいすに、園児たちの表情もどこかこわばり気味。小さな胸の中で、期待と緊張がせめぎ合っている様子でした。けれど、そこに現れたのが頼もしい1年生のお兄さん、お姉さんたち。「こっちだよ」「だいじょうぶだよ」その一言一言が、魔法のスイッチのように空気をやわらかくしていました。やさしく手を引き、目線を合わせて説明する姿は、この一年で積み重ねてきた成長そのもの。ほんの少し前までは迎えられる側だった子どもたちが、今日は立派に“迎える人”になっていました。

タブレットを活用した体験では、ひらがなに挑戦したり、指先で自由にお絵描きをしたりしました。小さな指でなぞる一文字一文字に、「もうすぐ小学生」という思いが重なっているようでした。

さらに、実際に1年生の通学かばんを借りて背負い、教室から図書室まで歩く体験も行いました。少し大きなかばんに体を預けながらも、背筋をぴんと伸ばして歩く姿は、もう立派な小学生。廊下を歩くその足取りは、入学へ向かう一步の予行練習のようでした。

活動が終わるころには、最初の緊張はすっかりほどけ、「たのしかった」「はやく学校にきたい」と話す姿も見られました。どの子の表情にも、4月への期待がきらりと光っていました。

私たち職員一同も、新1年生の入学を心待ちにしながら、安心してスタートを切ることができるよう、心を込めて準備を進めてまいります。

4月、校門をくぐる小さな背中を、あたたかく迎えられるその日を楽しみにしています。



## 3年生食育講話と搾乳体験

4年生が18日に、食育講話と搾乳体験を行いました。スライドを見ながら、牛の一生について大まかな流れを分かりやすく説明していただき、食べ物の背景にある命や人の仕事について学ぶ、とても大切な学習となりました。

後半には、実際に搾乳体験も行いました。初めて触れる牛のぬくもりや、手の力加減の難しさに驚きながらも、子どもたちは真剣な表情で取り組んでいました。体験を通して、普段何気なく口にしている牛乳が、命と多くの人の努力によって支えられていることを実感することができました。

